

2022年3月

公益財団法人 日本城郭協会 2022年度事業計画

1. 「会員増強計画」一会員増強への取り組み強化・推進一

協会の事業や活動を支える会員の増強は、協会運営の最重要活動である。2021年度の各種会員数の15%増員を目標に会員増強に取り組む。

一般会員とのオフラインによる交流を目的とした会員交流会等の企画・開催を行う他、2021年度より開始した城郭会員制度を活用した各城郭との連携強化につとめる。また、安定した協会事業推進のために、協会運営資金の安定確保を行う。

2. 「日本城郭協会賞」の推進

城郭文化のさらなる振興のための新たな事業として創設した、『第1回日本城郭協会賞』の発表と表彰を行う。受賞者は年末の「お城 EXPO2022」にて記念講演を行う予定とする。また、第2回の選考作業を実施する。

3. 「日本100名城スタンプラリー」・「続日本100名城スタンプラリー」の運営およびPR強化

「日本100名城スタンプラリー」・「続日本100名城スタンプラリー」は新型コロナウイルス感染症の流行中は、各地の自治体からの要請により自粛を余儀なくされているが、本事業が多くのお城ファンに支持されていることから、2022年度も引き続き各城郭と緊密に連携しながら推進する。

また、様々な機会をとらえて「日本100名城・続日本100名城スタンプラリー」のPRを実施し、スタンプラリー参加者のさらなる増加を図る。

4. 「城の自由研究コンテスト」「親子名城見学会」の継続開催

「城の自由研究コンテスト」は2021年に引き続き、小学生の部と中学生の部に分けて昨品を募集する。表彰式については引き続き「お城 EXPO」の会場での開催を予定するが、EXPOの催事として開催することで、社会的認知度のさらなる向上を図る。

「親子名城見学会」は、新型コロナウイルスの流行を考慮にいれながらも開催を検討し、再開を目指すものとする。

5. 「お城 EXPO2022」の開催

2022年度も、当協会として引き続き主催実行委員会に主導的立場で参加する。

また、各地で開催される「出張!お城 EXPO」にも積極的に参画し、地方に城文化の伝播を行うと同時に地方の城郭愛好家への当協会のPRと入会促進を行う。

6. 「日本城郭検定」の開催

2022年度の日本城郭検定は、新型コロナウイルスの流行に留意しながら、年2回開催

を行う。第20回となる6月の検定では、記念回としての企画を検討する。また、2020年から導入したオンライン検定の充実・拡充を図る。

「お城 EXPO」で開催している「日本城郭検定プレゼンツ・城好き No1 決定戦」は、「日本城郭検定」のPRという位置づけで引き続き開催する。

7. 「日本城郭協会史」の刊行

当協会の公益財団法人移行10周年を記念して、当協会の創立から今日までの活動を記録した「日本城郭協会史」を編集、刊行する。

8. [会報・HP]等広報活動強化

当協会の公益事業活動を広く社会に周知させるとともに、会員への情報サービス機能や新会員加入促進を目的に、会報「城郭ニュース」の発行・配布を継続する。

ホームページ・SNSについても、会員・その他の城郭愛好家向けに、各城郭からの提供された情報などを適時掲載・リツイートを行う。

協会公認サイト「城びと」との連携や、「城カード」の企画、各自治体等からの講師派遣対応など城ブームの興隆に寄与する。

9. 「ヨーロッパ100名城」のPR・事業化推進

2011年に選定した「ヨーロッパ100名城」について、コンテンツ・ガイドブックのリニューアルに着手し、本コンテンツを活用した事業化の検討を行う。

10. 「学術委員会の活動強化及び学術委員」の拡充

学術委員会の活動については、マスコミ等からの問い合わせ対応を行う事務局からの相談対応や会報への寄稿、「お城 EXPO」の講演、「日本城郭協会賞」の審査員など協会が主催・参画する催事への参加などを中心に、引き続き活動の拡充を目指す。

11. 「当協会資産」の整理・活用

当協会の資産である井上宗和氏の研究資料等の整理を推進し、その活用を検討する。